

討議資料

宇田川よしひで

市議会ニュース

vol.43
2013年7月



川口市議会議員

宇田川 好秀

平成25年 第2回

6月市議会定例会

市政に関する報告

所信と報告(抜粋)

平成25年6月7日

6月28日までの22日間

6月議会に提案された市長提出議案は、予算議案1件、条例等の一般議案18件で、予算議案として、一般会計においてグリーン

センター施設維持補修費等で、4790万8千円の補正。

一般議案では、「川口市税条例の一部を改正する条例」などの条例議案6件、財産の取得議案1件、専決処分承認議案3件、市道路線の認定・廃止議案4件、人事議案4件です。

※このレポートは6月23日議会開会日に提出された案件を掲載しております。(追加議案については掲載されておりません)

市民意識調査について

総合計画の検証と進行管理等に資するため、無作為抽出による18歳以上の市民5000人を対象に、今後の居住意向や本市の施策に対する評価などについての調査を平成18年度以降、毎年実施しています。

昨年(平成24年)の12月に実施した調査結果によると、今後川口市に住み続けたいとする市民の割合は、82%でした。(6

年間連続して80%を上回る)

なお、合併後、2回目の調査となりましたが、地域別にみても、鳩ヶ谷地域の方の川口市に住み続けたいとする割合は、81.3%で、前回に引き続き80%を上回りました。

また、本市の第4次総合計画基本計画に掲げる34の施策に対する評価では、安定した水道水の供給、スポーツ・レクリエーション活動の推進、健康づくりの推進と医療の充実において高い満足度を示す一方、今後さらに充実を図るべき施策としては、子育て環境の充実、高齢者の暮らしの充実、安全・安心な市民生活の確保などが挙げられております。

※ここで市民の求める施策が挙げられたことから、その実現に向け鋭意努力する事が必要です。

ご当地ナンバー「川口ナンバー」

国土交通省では、地域振興や観光振興の観点から新たな地域名を表示する自動車のナンバープレート、「ご当地ナンバー」の導入について、全国からの強い追加要望から、平成16年に続いて、本

年2月から第2弾の公募を実施しているところです。

「ご当地ナンバー」の公募については、川口市議会、川口商工会議所、鳩ヶ谷商工会及び川口トラック協同組合から、地域活性化や観光の振興による経済効果、さらには、交通安全意識の向上などの観点から、「川口」ナンバーの実現をとの要望がありました。

そこで、川口市では、無作為抽出による20歳以上の市民5000人を対象に、ご当地ナンバー「川口」の導入の賛否に関するアンケートを、去る4月8日から22日まで実施いたしました。その結果、約6割の方々から導入に賛成とのお返事をいただいたことから、5月8日に、ご当地ナンバー「川口」導入の要望書を、窓口となる埼玉県に提出しました。今後、国土交通省の審査を経て、この夏には導入の是非が決定される予定です。

また同時に、独自のデザインを取り入れた、排気量125cc以下のバイクのナンバープレートの導入も行いたいとのことでした。

川口市庁舎建設審議会について

老朽化した市庁舎の建て替えにあたりましては、建設地を現在地とするか、または、SKIPシティに移転するかを選定するために、昨年の11月に「川口市庁舎建設審議会」を設置し、検討を重ねてきたところです。

その中で、仮に本庁舎がSKIPシティに移転した場合に、現庁舎の周辺商業等への影響について調査すべきとの指摘を受け、急遽、2月末から3月にかけて当該調査を実施しました。

この調査では、本庁舎、分庁舎及び第二庁舎等への来庁者に対して、居住地や来庁手段、周辺商業等施設の利用状況等について、また、現庁舎周辺及び川口駅周辺の商業等施設に対しては、庁舎が移転した場合の影響について、それぞれ聞き取り調査を行ない、あわせて市職員に対して、通勤手段や周辺商業等施設の利用状況についてアンケートを行なったものです。

その結果、移転に伴う現庁舎周辺及び川口駅周辺商業の年間

推定損失額は、約5億4千万円から7億1千万円と推計され、この結果を審議会に報告しました。

なお、庁舎の建て替えは、市民の皆さんにとりまして大きな関心事でありますことから、審議会で検討いたしました「住民の利便性」や「防災拠点性」など建設地選定のための評価の視点について、6月3日からパブリックコメントを実施したところです。

その結果につきましては、審議会に報告し、慎重にご審議をいただきました後に、新庁舎の建設地の答申を賜わることになります。

特別養護老人ホームの整備について

急速な高齢化が進む中、川口市における65歳以上の高齢者人口は、増加の二途をたどり、特別養護老人ホームなど高齢者福祉施設のさらなる充実に向けた取り組みは、喫緊の課題です。

そうした中、戸塚地区（西立野）において建設が進められていた入所定員120床の特別養護老人ホーム「かわぐちロイヤルの

園」が、本年4月に開所、さらには神根地区（道合）において、入所定員108床の特別養護老人ホーム（仮称）悠久の栖」が本年8月の開所を目指し、現在、建設が進められております。

これら2施設の開所により、市内あわせて23施設、2053床の特別養護老人ホームが確保されることとなります。

しかしながら、年々増え続ける高齢者の施設ニーズに対応するためには、さらなる施設の確保が必要な状況であることから本年度中にさらに1施設、110床、来年度には2施設、239床を確保する予定です。

写真は今年4月に安行地区にオープンした小規模多機能型居宅介護施設「ケアカンパニー」です。



小規模多機能型居宅介護施設「ケアカンパニー」



かわぐちロイヤルの園



悠久の栖(仮称)

「SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2019」について

デジタルシネマに特化した世界初の映画祭として、平成16年3月に第1回を開催しました「SKIPシティ国際Dシネマ映画祭」も回を重ね、今年で節目となる10回を迎えることとなりました。

この間、本映画祭でノミネートされた監督の作品が、世界の名だたる映画祭でも高く評価されており、昨年、長編コンペティション部門で、日本人監督初となる「監督賞」と、国内の新人クリエイター育成を目的とした「SKIPシティアワード」を受賞いたしました中野量太監督の作品「チチを撮りに」が、第63回ベルリン国際映画祭のジェネレーション部門に正式招待され、高い評価を得ております。

記念すべき10回目となる今回の映画祭では、昨年より開催日数を1日増やし、7月12日から21日までの10日間にわたり、SKIPシティで開催いたします。応募作品から厳選しましたノミネート作品を、コンペティション

部門におきまして順次上映するほか、昨年、劇場公開され大変話題を呼びました「のぼうの城」を、特別上映作品としてご覧いただく予定です。さらに、10周年特別企画といたしまして、ロケルダム国際映画祭との提携企画による作品の上映など、来場される皆さんに斬新で魅力あふれる映像の世界をご堪能いただけるように努めます。

今後におきましても、本映画祭の開催をおしめして、映像クリエイターの発掘や「川口子ども映画クラブ」による映像制作など、将来を担う人材の育成に努めるとともに、映像関連産業の振興に、引き続き取り組んでいくこととなります。



SKIPシティへのご案内

議案第62号「川口市空き家等の適正管理に関する条例」の制定について

(内容)空き家等が放置され管理不全な状態となることを防止する事により、生活環境の保全と防犯のまちづくりの推進に寄与することを目的に制定するものです。

● 空き家等の所有者等の責務

～空き家等の所有者等は空き家等が管理不全な状態にならないよう、常に適正な管理をしなければならぬとする責務を規定するもの。

● 空き家等の情報提供

～市民は、管理不全な状態である空き家等があると認めるときは、市にその情報を提供するよう求めるもの。

● 空き家等の調査

～市長は、空き家等が適正な管理が行われていないと認めるとき、又は情報の提供があった時は、空き家等の状態及び所有者等の情報を職員に調査をさせることができるもの。

● 適正な管理を求める助言、指導、勧告及び命令

～市長は、調査により管理不全な状態であると認めるときは、空き家等の所有者等に、助言又は指導を行うことができるもの。また、助言又は指導を行ったにもかかわらず、改善されないときには、必要な措置を講ずるよう勧告することができる。勧告に応じないときは、期限を定めて必要な措置を講ずるよう命ずることができるものとするもの。

● 命令に従わない所有者等の公表

～市長は、正当な理由なく命令に従わない時は、住所氏名、空き家等の所在地等を公表することができるもの。

● 警察その他の関係機関への協力要請

～市長は緊急を要する場合は、警察その他の関係機関に必要な協力を要請することができるもの。

施行期日 ● 平成25年10月1日

議会での一般質問から

(質問)

風しんの感染予防についての対策は？

(回答)

予防接種が最も効果的なことから、今年度早々から、ホームページにおきまして、成人向けの風しん予防接種の呼びかけを始めております。現在では、特に妊婦の夫に予防接種を促すチラシを作成し、母子健康手帳交付時に配付するとともに、公共施設窓口でも配布し、さらには成人向けの予防接種が可能な、医療機関の一覧表をホームページで公開し、啓発を行っているところです。今後は、さらなる支援策として、先天性風しん症候群を避けるために、妊娠を予定または希望している19歳から49歳の女性及び妊婦の夫を対象に、風しん単独ワクチンで3千円、麻しん風しん混合ワクチンで5千円の費用助成を4月に遡って実施してまいります。

※この事業の目的は、風しんの流行を鑑みて、妊娠初期の女性が風しんにかかること、胎児が風しんウィルスに感染し、難聴、心疾患、白内障、精神や身体の発達遅延等の障害(先天性風しん症候群)を持った赤ちゃんが生まれる可能性があるため、それを回避するため、緊急的に本年度の措置として風しん予防接種への助成を実施するものです。

※このレポートは市長の所信と報告を抜粋加筆して作成しています。

